

◎講義概要

○教科書：安西文雄＝卷美矢紀＝宍戸常寿『憲法学読本』（有斐閣、2011年）

○参考書：長谷部恭男＝石川健治＝宍戸常寿編『憲法判例百選ⅠⅡ〔第6版〕』（有斐閣、2013年）

教科書は必ず指定範囲を読んでくること。参考書については、講義で特に触れる判例の番号をレジюмеで指示する。

○講義進行予定

- | | | |
|------------|--------|---------------------|
| 第7回（5／22） | 憲法総論 | （教科書1～3章） |
| 第8回（5／29） | 基本的人権1 | （教科書4～6章） |
| 第9回（6／5） | 基本的人権2 | （教科書7・8章、11章Ⅰ） |
| 第10回（6／12） | 基本的人権3 | （教科書9・10章、11章Ⅱ、12章） |
| 第11回（6／19） | 統治機構1 | （教科書13～15章） |
| 第12回（6／26） | 統治機構2 | （教科書16～18章） |

○講義の進め方

指定した教科書の範囲から、重要なトピックを複数選んで、解説する。

できる限り、政治・行政上の話題や主要な裁判例のうちから、話題を選び、それを憲法学の観点から考える（複数の）筋道ないし可能性を示すつもりである。

講義中の質問を歓迎するので、問題意識を持って予習してくること。

講義には小型六法を持参すること。

○自習用の文献

（標準的テキスト）

- ・ 芦部信喜・高橋和之補訂『憲法（第5版）』（岩波書店、2011年）
- ・ 野中俊彦＝中村睦男＝高橋和之＝高見勝利『憲法ⅠⅡ〔第5版〕』（有斐閣、2012年）
（判例集）
- ・ 憲法判例研究会編『判例プラクティス憲法』（信山社、2012年）
（演習書）
- ・ 宍戸常寿『憲法 解釈論の応用と展開〔第2版〕』（日本評論社、2014年近刊）

第7回 憲法総論

1 インTRODクシヨN、憲法の学び方

- ・憲法の解釈

2 近代立憲主義と現代立憲主義

- ・立憲主義の多義性
- ・明治憲法と「外見的立憲主義」
- ・現代立憲主義の諸課題

3 天皇の国事行為と衆議院の解散

- ・象徴天皇制
- ・国事行為とその制限
- ・衆議院の解散の実質的決定権の根拠

4 政府の憲法9条解釈

- ・戦争放棄と戦力不保持
- ・(個別的) 自衛権の概念
- ・日米安全保障条約における共同防衛義務
- ・自衛隊の海外派遣—P K O、テロ対策特措法、周辺事態法
- ・集団的自衛権をめぐる議論